



新学長のご挨拶

湘北短期大学 学長

高橋 洋



学長 高橋 洋

プロフィール

1985年 ソニー株式会社入社後、一貫して海外マーケティングと販売プラットフォームの経営に従事。
海外では、シンガポール、インドネシア、中国、アメリカ、メキシコに駐在し、メキシコや中国では、ソニーメキシコ、ソニーチャイナの現地社長を歴任。
帰国後、ソニー株式会社執行役員として2022年まで従事。
2024年 4月1日から、ソニー学園湘北短期大学副理事長兼学長として就任。

本年4月1日付で高野瀬の後任として学長に就任しました。プロフィールにあるように、前職ではエレクトロニクス製品のマーケティングと販売会社の経営に携わってきました。世界のいろいろな地域で働いてきましたが、どの国でも、自分が売った製品をお使いになるお客様が目を輝かせて感動する姿に触れることが大きな喜びでした。

教育畑はまったく未知の領域で毎日勉強することばかりですが、学生が目を輝かせ、夢に向かっていく姿に触れることに喜びを感じるという点では前職と共通のものがあると感じています。

本学は、『社会でほんとうに役に立つ人材』を育てるという建学の精神の下、これまで2万4千人の卒業生を輩出してきました。その多くは、地域社会の事業・産業に貢献しています。今後さらに多くの若い人に良質の学びの機会を提供することを考えたとき、本学単独の教育の質の向上だけでは完成は難しいと言わざるを得ません。やはり、高校と大学の教育をシームレスにつなげ、一切の無駄なく、生徒、学生の時間を最大限有効に活用できる仕組みを作っていくことが本当の学生ファーストの教育の在り方だろうと考えます。

この観点に立ち、本学は、地域の高校の皆様との連携を積極的に推進していきたいと切に願っています。ぜひ、皆様の強力なご支援とご協力をお願い申し上げます。

2024年度 高大連携事業 概要

①教育に関する情報交換や教育連携の研究

高大連携教育研究会を開催します。 実施予定日程 第23回 9月、第24回 3月

②情報リーフレット「高大連携通信」の発行

中等-高等教育連携に関連する情報交換のために年2回発行します。

③出張授業

授業のテーマ等については、連携校の要望に応じたオーダーメイド授業にも対応します。

④特別講座等の開講

インターンシップや体験授業として活用できる「一日体験授業」など、本学の施設を利用した特別授業を、ご要望等を踏まえて企画・実施しています。

⑤Webサイト(湘北ホームページ内)からの情報発信

教育研究会や出張授業の最新情報をWebで確認できます。

⑥連絡協議会(3月中旬実施予定)

教育研究会と兼ねて実施します。

第22回 高大連携連絡協議会及び教育研究会

第22回高大連携連絡協議会及び教育研究会が以下の通り開催されました。

高大連携連絡協議会では、学長の挨拶、2023年度事業報告および2024年度事業計画が報告されました。

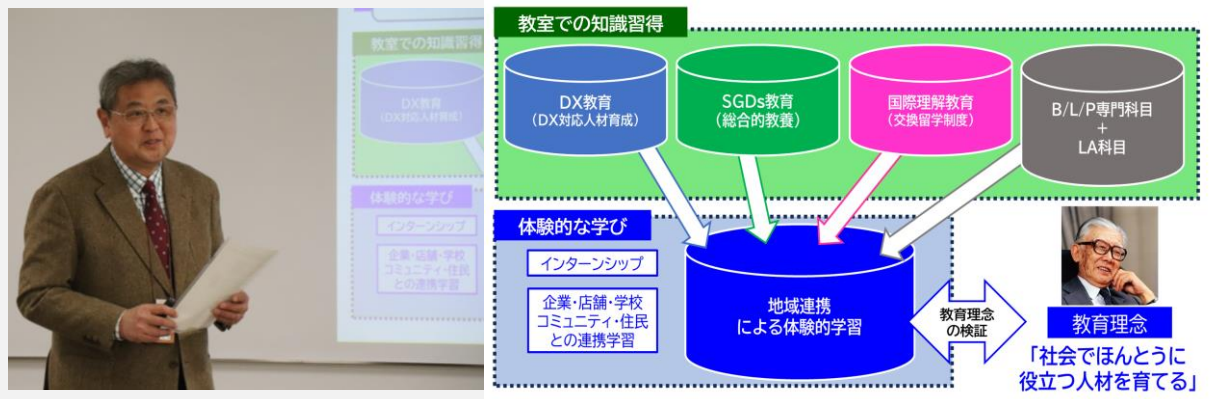
続いての教育研究会は、二部構成で行い、第一部では、神奈川県立吉田島高等学校の阿出川公恵先生が登壇し、「吉田島高等学校と湘北短期大学の連携について」をテーマに講演していただきました。第二部の情報交換会では、「アクティブ・ラーニングの実践～学習者主体の学びを目指して～」がテーマとなり、各高校でのアクティブ・ラーニングの実践例や本学の取り組み事例が共有されました。

■開催日時：2024年3月14日（木）14時50分～16時30分

■開催場所：湘北短期大学1号館145教室

■出席者（連携高校教員 11名、湘北短期大学教職員 15名 計26名）

高大連携連絡協議会

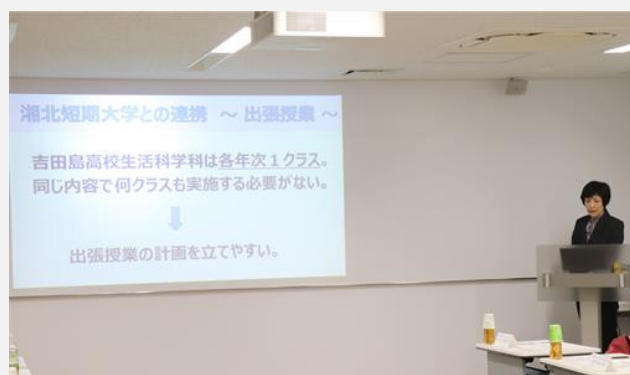


冒頭の挨拶で高野瀬理事長は、本学において「社会でほんとうに役に立つ人材を育てる」という教育理念を叶えるため、高大連携を含め、ますますの地域連携による体験的学習が重要だと話しました。

教育研究会 第一部

吉田島高等学校と湘北短期大学の 連携について

神奈川県立吉田島高等学校
生活科学科 阿出川公恵



第一部では、神奈川県立吉田島高等学校 阿出川公恵先生から、本学保育学科、生活プロデュース学科の出張授業による連携についてお話をいただきました。出張授業の好影響に関して、生徒たちが各コースに関連する職業と資格について詳しく知ることができ、自分自身の職業人としてのあり方を考えるきっかけとなり、また、生徒たちの進路に対する目的意識が高まったと述べられました。

教育研究会 第二部



第二部では、まず最初に、本学生活プロデュース学科 清水一毅講師より、新しい時代の教育はどうあるべきか、どのような教育目的にどのような方法が適しているかなど、アクティブ・ラーニングに関する目的、定義などについて、情報提供されました。

その後、各高校、本学から、様々なアクティブ・ラーニングの実践例が紹介されました。例として、秦野総合高校の三浦先生からは、ジグソー法を用いたアクティブ・ラーニングの取り組みをご説明いただきました。生徒をグループに分け、日常の関心事に関連した課題を設定し、それぞれのグループが異なる役割に分かれて実践。授業中には教員が話す時間を最小限にし、生徒たちが主体的に学ぶことができる環境を提供しているとのこと。厚木北高校の吉良先生からは、スポーツ科学科における研究活動について紹介いただきました。生徒たちは実際の実験を通じて仮説を立て、研究を行い、卒業研究発表の場で成果を発表しているそうです。また、基礎学力だけでなく、生徒の興味や内発的な要素にも焦点を当て、成長を促しているとのこと。他にもいろいろな先生方から事例が共有されました。各校の取り組みに共通しているのは、生徒が主体的に学び、自己成長を体験する機会が提供されていることでした。

今後学生・生徒に身につけさせたいスキルについて、参加者たちはこれらの情報交換から学び合うことができました。

高大連携トピックス

スポGOMI

この度、光明学園相模原高等学校の生徒会を中心として、神奈川県内陸工業団地内のゴミ課題の解決に向けて「スポGOMI」を実施することとなりました

スポGOMIとは？
1チーム3名でチームを組み、制限時間内に決められたエリアのゴミを拾い、その量と質でポイントを競うスポーツです



2024年2月17日（土）に、神奈川県内の工業団地で、光明学園相模原高等学校の生徒会を中心に、ゴミ問題に取り組むための「スポGOMI」が実施されました。スポGOMIとは、3人1チームでエリア内のゴミを拾い、その量と質でポイントを競うスポーツです。このイベントには、湘北短大から3チームが参加しました。参加者の話によると、ビニール袋や空き缶、ペットボトルがあちこちにポイ捨てされており、特にタバコの吸い殻が多かったそうです。光明学園相模原高校の皆さんの運営サポートのおかげで、この日だけで約43kgのゴミが回収され、楽しく街の美化に貢献できたとのこと。

出張授業

2024.4.18 神奈川県立有馬高校 出張授業

『17歳の地図』の描き方



湘北短期大学
総合ビジネス・情報学科

鈴木孔明

すずきこうめい



2024年4月18日(木) 神奈川県立有馬高校にて、本学 総合ビジネス情報学科 鈴木孔明講師が出張授業を行いました。『総合的探究の時間』の授業内で、高校2年生を対象に「総合的探究の重要性」について伝えました。授業の内容は、今後の変化の激しい時代において必要な考え方を説明し、また、今まで一度も話したことのない生徒同士でのアクティブ・ラーニング等を行いました。授業を受けた生徒からのアンケートは、「進路について関心を持つことができた」「大変、分かりやすい講演会だった」「聞いた事を将来に活かしたいと思う」などの意見が多く出て、大変好評でした。

保育入門講座



2024年2月17日(土)に「高校生のための保育入門講座」を開催しました。本講座は、大学での学びをリアルに体験し保育の魅力を感じていただくことを目的としています。当日は「保育とピアノ」「絵本の世界を楽しもう」の授業で、実際にピアノや絵本に触れていただきました。現役の2年生もチューターとして参加し、直接ピアノレッスンのサポートをしたり、絵本の読み聞かせをしました。またゲストとして、保育園、幼稚園で働いている卒業生も登場し、実際の現場の様子を話してもらいました。参加した高校生は14名。「今後の役に立ちました」とコメントもいただきました。

今年度は5月25日(土)と2025年2月15日(土)に開催します。

湘北短期大学 地域連携センター

〒243-8501 神奈川県厚木市温水428
TEL:046-247-3131/FAX:046-247-3667
E-mail:sr-center@shohoku.ac.jp
URL: <http://scopp.shohoku.ac.jp/>



湘北
ナビットくん

高大連携通信 Vol.26

発行日:2024年5月13日

発行元:学校法人ソニー学園
湘北短期大学
地域連携センター